

箱 根 山

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象等の状況（図 3、4、5、6）

4 日に実施した上空からの観測（神奈川県との協力による）では、早雲山及び湯ノ花沢付近の地熱および噴気地帯についても、噴気の状態や地表面温度分布¹⁾に特段の変化は認められませんでした。

17 日に実施した現地調査では、大涌谷及びその周辺における噴気などの表面現象や地表面温度分布¹⁾に特段の変化は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・地震や微動の発生状況および地殻変動の状況（図 1）

箱根山付近を震源とする地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

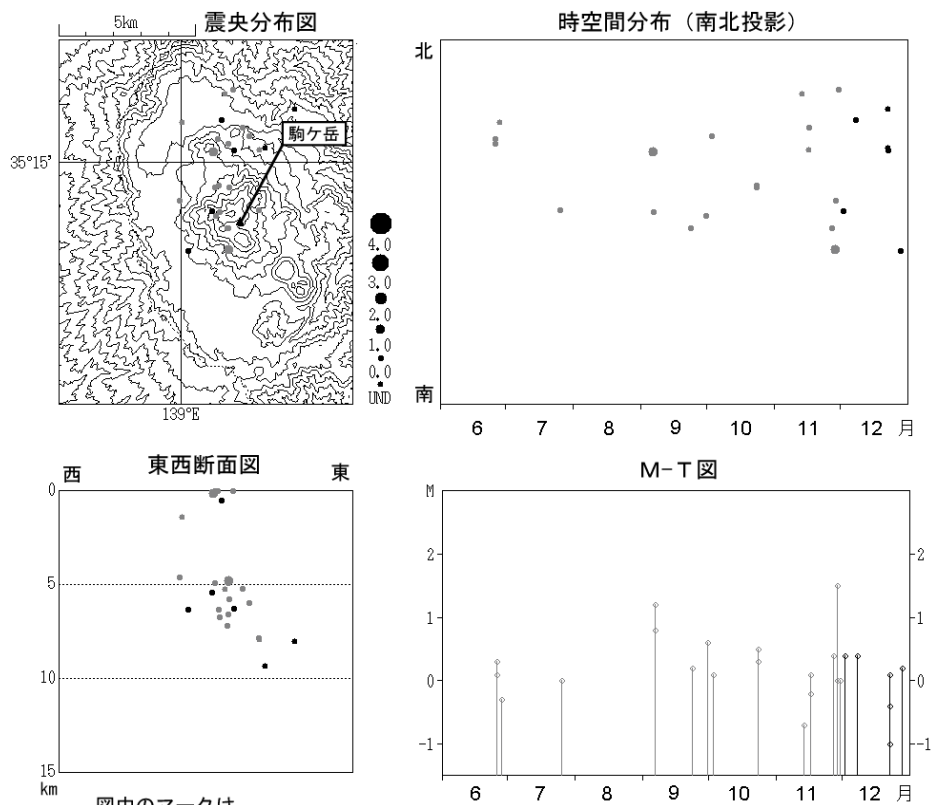
気象庁が湯河原に設置している体積歪計^{ひずみ}²⁾では火山活動によると見られる変動は認められませんでした。

2) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの注入等により変化が観測されることがあります。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 20 年 1 月分）は平成 20 年 2 月 7 日に公表する予定です。

この資料は気象庁のほか、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。



図中のマークは、
○：2007 年 6 月 1 日～2007 年 11 月 30 日
●：2007 年 12 月 1 日～2007 年 12 月 31 日
に発生した地震を示す。

図 1 箱根山 地震活動経過（2007 年 6 月 1 日～2007 年 12 月 31 日）

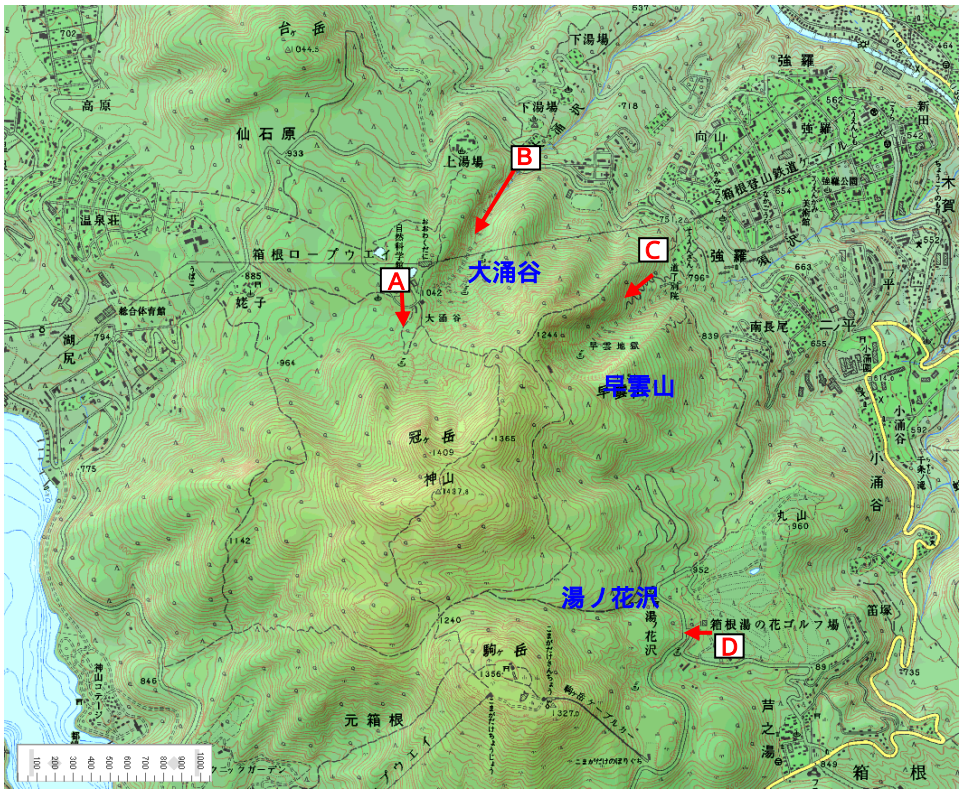
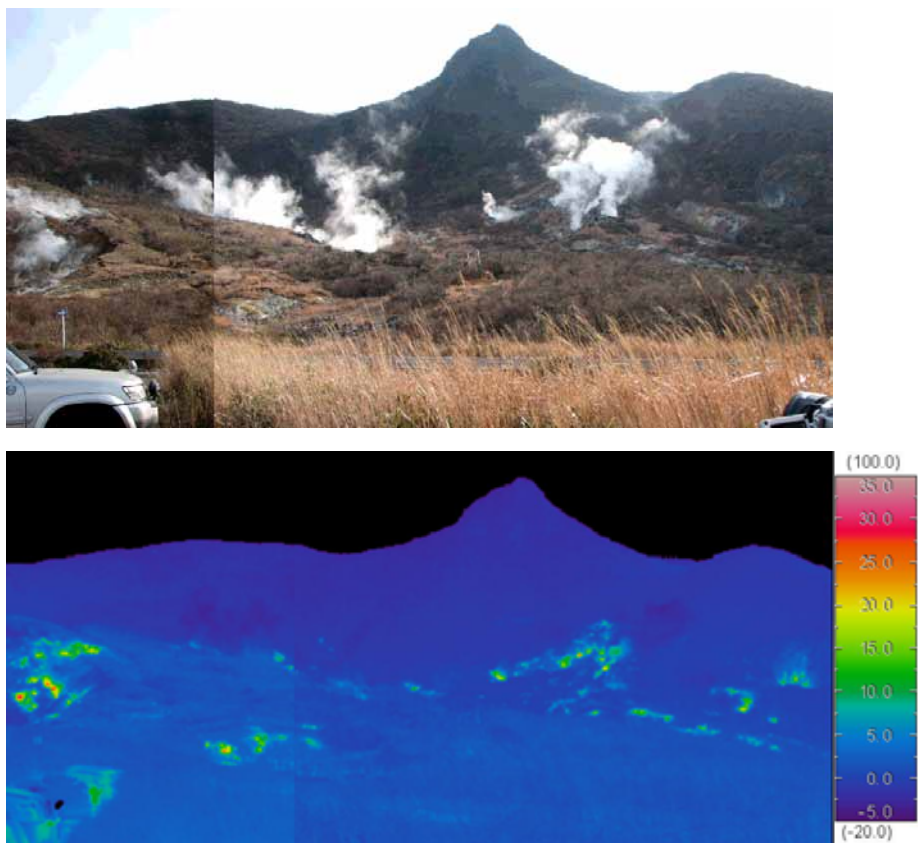
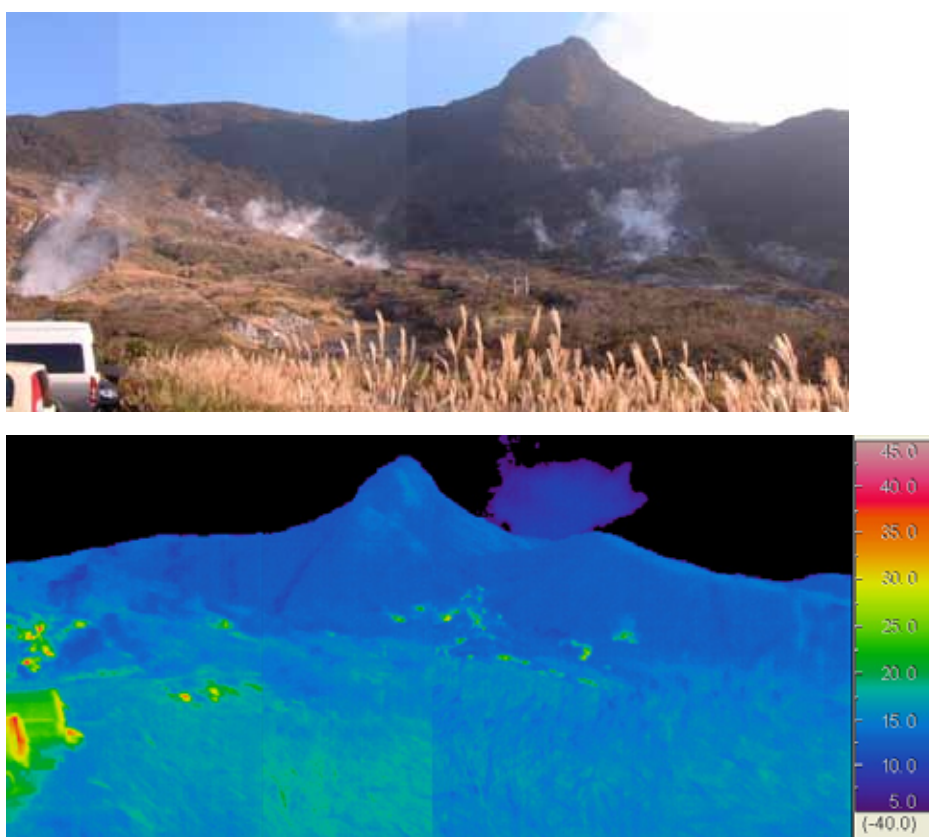


図 2 箱根山 周辺図（図中 A ~ D は撮影ポイントと方向）



2007 年 12 月 17 日



2006 年 10 月 19 日

図 3 箱根山 赤外熱映像装置による大涌谷付近の表面温度分布（図 2 A から撮影）

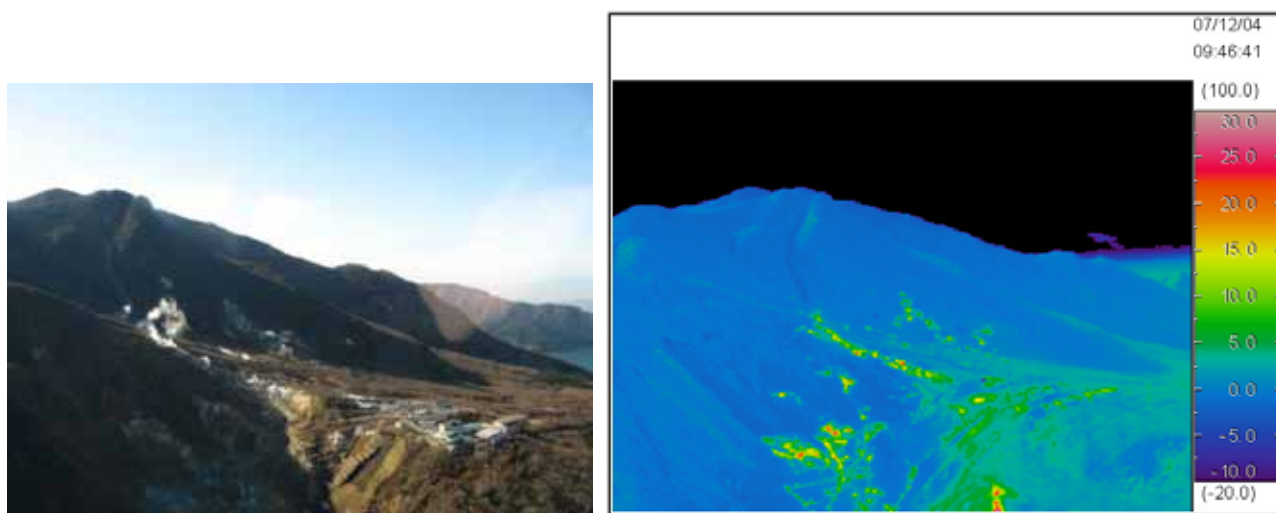


図 4 箱根山 赤外熱映像装置による大涌谷付近の表面温度分布（12 月 4 日 図 2 B から撮影）

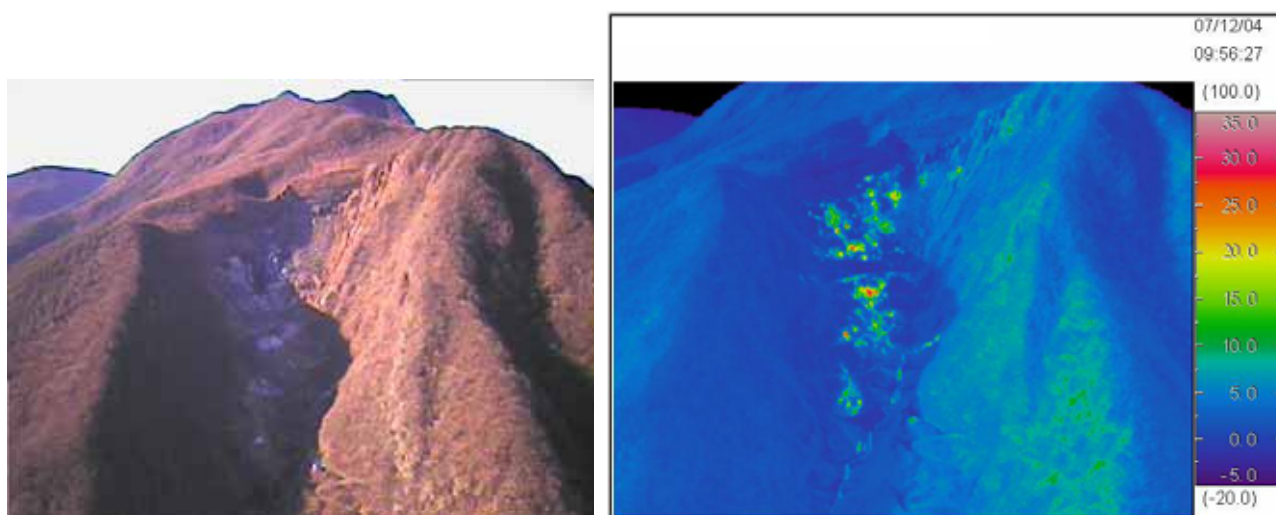


図 5 箱根山 赤外熱映像装置による早雲山の表面温度分布（12 月 4 日 図 2 C から撮影）

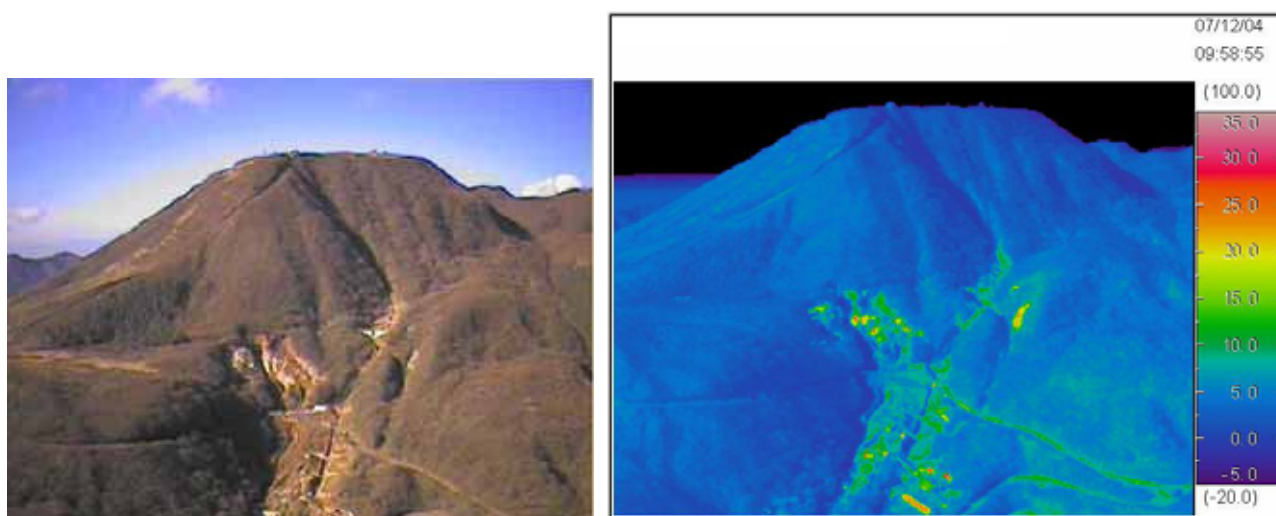


図 6 箱根山 赤外熱映像装置による湯の花沢の表面温度分布（12 月 4 日 図 2 D から撮影）